

ひとりでも多くの人に 遠軽との縁を感じてもらいたい



長谷川 縁 (はせがわ ゆかり)

旭川市出身。ニセコのアウトドア会社、札幌のゲストハウスでの勤務を経て、2020年に遠軽町地域おこし協力隊に。花回遊や流水など、オホーツクエリアの生活を楽しみながら活動中。

【地域おこし協力隊になるまで】

観光業界で働こうと思ったきっかけは、旅行が大好きな父の影響だと感じています。小さいころから、ゴールデンウィークやお盆、お正月など連休には必ず家族や親戚みんなで旅行が恒例行事でした。北海道内・日本国内だけではなく、海外旅行にもたくさん連れて行ってもらったおかげで、多様な文化に慣れ親しみ、行動・挑戦することもためらわなくなりました。この経験をくれた両親には大変感謝しています。

ちょうど高校1年生のころに観光庁が発足（2008年10月）し、志望校を決める高校2、3年生のころには、観光学部がある大学がどんどん増えていきました。旅行の影響で英語や観光に関心が強くなっていた私は、その中のひとつである玉川大学経営学部観光経営学科（現在は観光学部）に入学するため、上京。大学生時代には、旅行をはじめ、短期語学留学や海外ボランティアを積極的に経験し、「英語を使いながら外国人と一

緒に働いてみたい」という思いから、大学を休学し、観光立国であるハワイのクアロア牧場という場所でガイドとして1年間のインターンシップを経験しました。その時に、「地元である北海道でこんな仕事がしたい」という強い思いが生まれ、大学卒業後は北海道で働くことを決意します。「北海道のためになる仕事をする」という信念のもと、ニセコや札幌で観光業に携わってきました。

【遠軽と縁がある】

地域おこし協力隊になりたいと思ったきっかけは、札幌のゲストハウスで働く中で、もともと興味があったインバウンドから、もっと北海道のローカルな部分を知り、小さなまちから盛り上げたいと感じるようになり、観光まちづくりに興味が強くなったことにあります。

地域おこし協力隊に応募するにあたり、まちが魅力的で住みたいと思える、かつ、私の今までの経験を活かして活動できる場所を探していました。はっきりと条件を決めていたわけではありませんが、地域おこし協力隊になるなら、「移住・定住する」ということを真剣に考えようと思っていたこともあり、心の中では条件が絞れていたのだと思います。例えば、実家がある旭川から遠く離れていないこと、スーパーや病院など、生活に必要な施設が充実していること、魅力的だと感じられる観光資源があること、またプライベートの時間を豊富に持てる勤務形態など。

そして目にした遠軽町の「新たな縁を造り出す森の縁ジニア」という協力隊募集のキャッチコピー。この瞬間から、私の心はワクワクに溢れ、自分の名前と同じであることに強い縁を感じ、「森の縁ジニア」は縁という名前の私しかいない！という想いで応募を決めました。遠軽町は私が考えていた条件を十分に満たしており、さらに勤務が週4日で副業も可能という、自由な時間を豊富に持てることも応募の大きな理由となりました。

【森の縁ジニアとして】

私は遠軽町役場商工観光課に所属し、普段は道の駅遠軽森のオホーツクで勤務しています。森の縁ジニアとして様々な“縁”を造り出し、魅力ある道の駅づくりの推進及び町内外への情報発信をすることが任務です。具体的には、道の駅でのイベント企画やデジタルサイネージ・SNSを通じた情報発信を行っています。また、夏はアクティビティスタッフとして、(一社)えんがる町観光協会の職員とともに働いています。

企画を考え、実施することにはやりがいを感じますし、アクティビティスタッフとして働く際には、町民をはじめとする道の駅利用者の方とお話できることに喜びを感じます。道の駅利用者や地域のみなさんと交流することは、活動していくうえで大事にしていきたいことのひとつです。

今年7月には、特定非営利活動法人雄武町観光協会と連携してヨガイベントを企画・開催しました。このように遠軽町とオホーツク管内の市町村との縁をつなぐ活動も行っていきたいと思っていますし、オホーツク全体が盛り上がるきっかけになればうれしいです。まだまだイベントを開催するのは難しい状況ではありますが、今後に向けた様々なイメージを考えながら、今できることを大切に活動していきたいと思っています。

【わたしのこれから】

4町村が合併した遠軽町は東西47km、南北46kmにわたる広大で緑豊かなまちです。現在、私を含め4名の地域おこし協力隊員が活動しており、白滝支所・丸瀬布支所・企画課・道の駅遠軽森のオホーツクと活動場所・活動内容も多岐にわたります。

私が勤務する道の駅遠軽森のオホーツクでは、ツリートレッキングやサマーゲレンデ、ジップラインなど、様々なアクティビティの体験ができます。遠軽で働きたい!と思った理由のひとつは、広大な大自然の中でこんなに多くのアクティビティが楽しめるこの道の駅がとっても魅力的でワクワクが止まらなかったからです。今後もこのワクワク感を大事にしながら活動していきたいですし、ひとりでも多くの方にワクワクと楽しさを感じてもらえるきっかけ作りをしていきたいです。

また、道の駅だけでなく、遠軽町内とのつながりを深めるため、町内のお店と道の駅をつなぐ新しい企画もすすめています。町民のみなさんにも、地域おこし協力隊がいて良かったと思ってもらいたいですし、地域の方と交流しながら、まちを盛り上げる手助けができればうれしいです。

これからも人との出会いと縁を大切に、遠軽への愛を育んでいきます。



今年7月に開催したヨガイベント



コスモス園



ジップライン